

三菱地所レジデンス株式会社



贈呈理由

分譲マンションへのエコキュート採用による省エネルギー・環境保全への多大なる貢献



ヒートポンプ給湯



ザ・パークハウス 新浦安マリンヴィラ(完成予想図)

総合ディベロッパーとして 高品質な住まいを提供

三菱地所株式会社は、三菱地所グループの基本使命「まちづくりを通じた社会貢献」を実現すべく、高品質な住まいを提供する日本のリーディング総合ディベロッパーである。

住宅分譲事業では、三菱地所レジデンス株式会社によるマンションブランド「ザ・パークハウス」を通じて、お客さまに安心・快適に暮らしていただくために、「暮らしの品質」を高め、「一生もの」にふさわしい価値を提供し続けている。

ZEH基準を満たす エコキュート群制御システム

JR「東京」駅直通16分の新浦安に、敷地面積約47,000㎡、浦安市最大級の528邸を誇るレジデンス「ザ・パークハウス 新浦安マリンヴィラ」が2022年9月上旬に全街区が誕生する予定だ。

政府のエネルギー基本計画の目標

では、「2030年までに新築住宅の平均でZEH(ゼッチ)対応とすること」が掲げられており、その政策目標の中で当プロジェクトは、ザ・パークハウス初となるZEH-M(ゼッチ・マンション) Readyの採用により、一次エネルギー消費量50%以上の削減を実現する。

ZEH基準を満たす断熱およびエネルギー消費効率のよい設備の採用はもちろんのこと、創エネルギーについては、太陽光発電の電力をエコキュート群制御システムにて各住戸で使用することにより、CO₂排出を抑制。地球の未来を考え、毎日の光熱費も抑えられ

る暮らしを実現する。

また、ZEH基準の断熱性能にオール電化のメリットを加えることで、各住戸の年間光熱費が約38%削減可能になる。これは1年間で約10万円節約できる、家計にもやさしい性能である。



低層15棟の屋根には太陽光発電パネルを設置

エコキュート群制御システム図



ザ・パークハウス 新浦安マリンヴィラ

所在地:千葉県浦安市高洲6-14-1
建築設計:協長谷エコーポレーション
建築施工:協長谷エコーポレーション
敷地面積:47,199.40㎡
竣工:1工区/2021年新設予定
2工区/2022年新設予定

■ 設備概要

エコキュート370L×528台[三菱電機]